



News Letter



斜視・弱視について

斜視 とは

患者さんの多くは、『幼い子どものうち』に症状があらわれます

斜視とは、右目と左目が違う方向に向いている状態をいいます。つまり、片目はまっすぐに前を向いていても、もう片方の目が違う方向を見ている状態のことです。

右目を正常な位置とした斜視の種類

内斜視



内を向いている

外斜視



外を向いている

上斜視



上を向いている

下斜視



下を向いている

斜視になると、何が問題でしょうか

子供で斜視になると、本来両方で見るべきところを、ずれた方の目では見なくなってしまいます。この状態が続くと、子供の目が成長しない「弱視」という状態になります。弱視になったまま成長すると、大人になってからでは回復せず、弱い目になってしまいます。失明こそしませんが、あまりよく見えない目になってしまい、常に片目で生活を強いられることはとても不便です。

治療方法

軽度の斜視ではプリズム眼鏡といって、視線の向きを矯正する特殊な眼鏡を使用頂くのも効果的です。大人も子供もひどい場合は手術をすることも可能です。

弱視 とは

子どもの弱視は、『早期発見』がとても大事です

視力の発達期（赤ちゃんから8～10歳頃）までに、何らかの影響で「物をくっきりと見る」ことが妨げられると視力の発育が遅れてしまいます。その場合、適正な度数の眼鏡を掛けても視力が伸びず正常な視力が出ないままの状態になってしまいます。

弱視をみつけるには？お子さまの目の気になるサイン

- ・ものを見るときに目をほそめる
- ・頭を傾けてものを見る
- ・テレビを前のほうで見る
- ・視線が合わない
- ・片方の目をかくすと嫌がる
- ・黒目が寄っている気がする

一般的に弱視は保護者の方が注意していても分からぬことがあります。特に片方の目だけが弱視の場合、良い方の目で普通に見ているため気がつかないことが多いようです。3歳児検診の視力検査を必ず受けるようにしましょう。



小児の視力検査

当院では、視能訓練士が常駐しております

小児の場合、大人と同じような視力検査をすることが出来ません。当院では、視能訓練士とともに、お子さまの年齢や性格なども考慮して、お一人おひとり時間かけてコミュニケーションを図りながら丁寧に検査・治療・訓練を行っています。見え方に左右差はないか、どれぐらい見えているのかを大まかにでも測定することは「弱視」の発見に繋がるので非常に大事になります。

嫌悪反射

対象年齢
1歳未満

片眼をそれぞれ隠した時の反応を見る検査方法です。言葉を発することのできない赤ちゃんも、嫌なことをされると、泣いたり顔をしかめたりというアピールをします。



物を追視するかの確認

対象年齢
1歳未満

片眼を隠した状態で、おもちゃ等の興味を引くものを動かし追視するかを見る検査方法です。極端に見えにくい場合、追視することができません。



縞視力

対象年齢
1歳未満

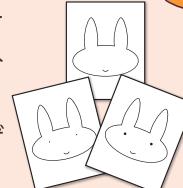
形のあるものに反応するという人間の特性を利用した視力検査です。無地と縞模様のカードを見せてどちらに視線が動くかを確認します。



ドットカード法（点視力）

対象年齢
2歳頃~

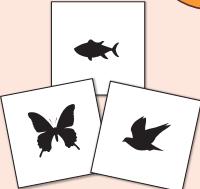
うさぎの目の位置と大きさが変えてあります。目の大きさがどこまで分かるのかで測定します。
「お目めはどこかな?」という風にゲーム感覚で行います。



絵視標

対象年齢
3歳頃~

チョウチョ、犬、魚、鳥などの影絵を出して何が書いてあるか答えるもらう検査方法です。



近見字ひとつ視力

対象年齢
3歳頃~

遠見視力が難しい場合に使用する検査方法です。
ランドルト環「C」切れ目の方向を答えてもらって測定します。



SNS
更新中



院内の活動などについて掲載しています。
@kyoseikai.eye.doctorで検索、フォローお願いします！



院内の活動や目の病気などについて掲載しています。
@kyoseikaiで検索、フォローお願いします！



医療法人恭青会
<https://kyoseikai.com/>



いくの眼科 十三本院と武庫之荘院と管理部の3拠点から構成されています。

LINE 公式アカウント

QRコードから
お友達登録お願いします

いくの眼科
十三本院



いくの眼科
武庫之荘院



いくの眼科
<https://kyoseikai.com/ikuno-eye/>
TEL.06-6309-4930

いくの眼科 武庫之荘院
<https://kyoseikai.com/mukonosou/>
TEL.06-6423-8871